

みなさんは…

カラダが男性であればココロも男性
カラダが女性であればココロも女性

男性は女性を愛するもの
女性は男性を愛するもの



それだけが“正しい”と
思い込んでいませんか？

男女共同参画の視点から考える性的マイノリティ



L G B T
エル ジー ビー ティー

って、なに？

▶ 男女にはそれぞれの“役割”がある？



❗ この“らしさ”も時代や地域が変わると…

- 男はたくましく** ▶ 「もののあはれ」に感動し、なよなよと泣き崩れたりするのが理想。武士は野蛮と見下される。
(平安時代の貴族の男性)
- 料理は女性がする** ▶ 「ヨーロッパでは普通女性が食事を作る。日本では男性がそれを作る。そして貴人たちは料理を作るために厨房に行くことを立派なことだと思っている。」
(戦国時代 ルイス・フロイス著「ヨーロッパ文化と日本文化」より)
- 男性がスカートをはくのはおかしい** ▶ スコットランドでは男性の正装がキルトと呼ばれる巻きスカートのようなもの。現在も結婚式や卒業式など公式な場面で着用されている。
- 家や財産を相続するのは男性** ▶ 東インドのカシ族は母親が家長の母系家族。結婚すると男性が女性の家に入る。財産所有権は母親にあり、末娘が財産権を継ぐ。

この“らしさ”の正体が

ジェンダー

「社会的・文化的な性別」です。

特定の社会が男性及び女性にふさわしいと考える
社会的に構築された役割や態度、行動、属性 (世界保健機構 (WHO))

▶ “ジェンダー”を背景とした日本の現状

衆議院議員に占める女性議員の割合

10.1%

人口の半分以上は女性なのに、
社会の事を決める場に
女性が圧倒的に少ない

※平成30年現在(内閣府「男女共同参画白書」令和元年版より)

企業等の階級別役職者に占める
女性の割合(部長級相当)

6.6%

働く人に占める女性割合は**43.0%**

※平成30年現在(内閣府「男女共同参画白書」令和元年版より)

第1子が生まれて離職する
女性の割合

46.9%

子どもが小さいうちは、
女性は育児に専念すべき？

※国立社会保障・人口問題研究所
「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)」より

男性の給与を100とした場合の
女性の給与の水準(正社員・正職員)

75.6%

女性というだけで低い賃金

※平成30年度現在(内閣府「男女共同参画白書」令和元年版より)

母親が正社員の場合の
父親の平均家事時間

45分

正社員の母親は**163分**
女性が仕事をしていても
家事はほとんど女性が負担

※母親が専業主婦の場合の父親は24分。父子世帯の父親は103分

※平成27年(独立行政法人労働政策研究・研修機構「子どものいる世帯の生活状況および保護者の就業に関する調査2016」より)

男性の育児休業取得率
(民間企業)

5.1%

男性は育休を取りにくい状況

※平成30年現在(内閣府「男女共同参画白書」令和元年版より)

自殺者に占める男性の割合

69.5%

20~50歳代の働き世代では
男性**73.1%**

※内閣府「平成30年版自殺対策白書」より



各国内の男女間の格差を数値化しランク付けした
ジェンダー・ギャップ指数(GGI)

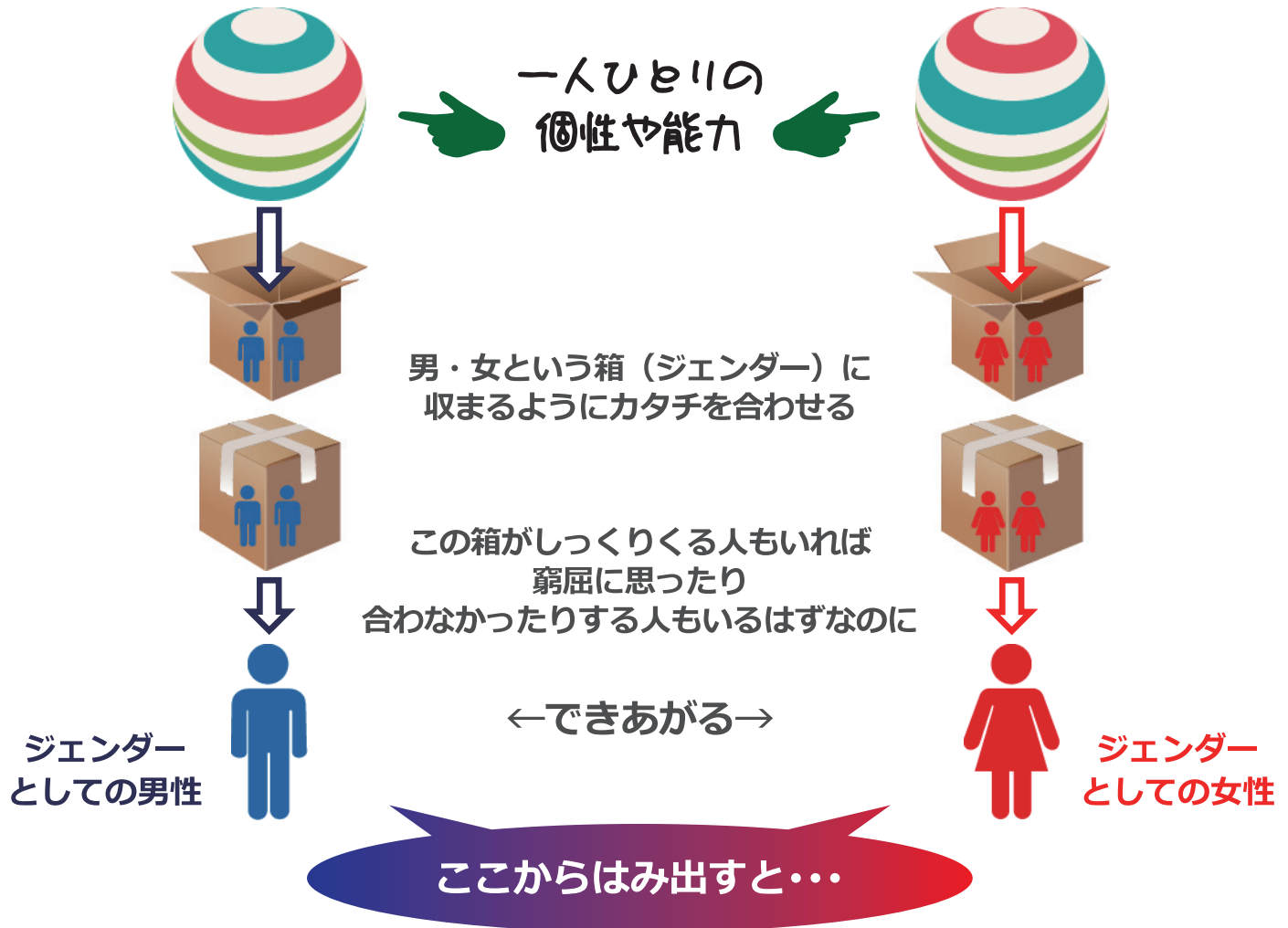
日本は **第110位** (149か国中)

世界経済フォーラム(2018年12月18日発表)



項目別順位・・・ 政治への参加 → **125位** 職場への進出 → **117位** 教育 → 65位 健康度合い → 41位

▶ “ジェンダー”のなにが問題なのか？



弱音を吐くやつは男じゃない!

「らしさ」を盾に

いきなり「人権侵害・差別」が始まる

しかも無意識に

すぐ泣くなんて男じゃない!

家事が苦手な女は女じゃない!

問題は…

その「男・女らしさ」を「こうあるべき」だと他の人にも強要したり、それに合わせて社会の制度や仕組みができていること、風潮があること。



ジェンダーは、時代や地域、人によってそれぞれ異なるもの。普遍的なものではなく、**流動的**なものです。根拠のない「固定的な意識」で周りの人に余計な困難を抱えさせないようにまずは自分のジェンダーを「意識すること」から始めましょう！

▶ さらに配慮すべき「性の多様性」

男性は女性を愛するもの
女性は男性を愛するもの



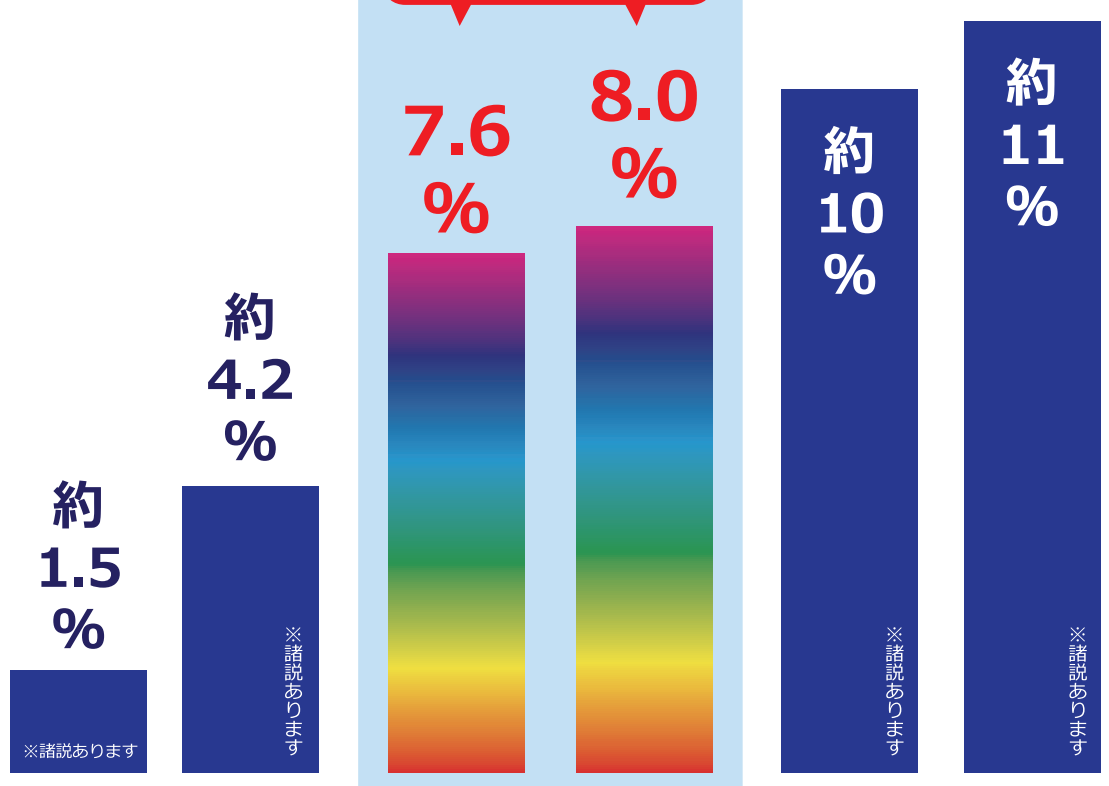
カラダが男性であればココロも男性
カラダが女性であればココロも女性

それも、あなたの「固定的な意識」ではありませんか？

最近行われた

意識調査では

このような結果が出ています。



日本人のキリスト教信者さんの割合

日本の公務員さんの割合

LGBT層の方の割合
電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2015」より

性的マイノリティの方の割合
博報堂DYGグループ株式会社LGBT総合研究所意識調査より

日本のAB型さん（血液型）の割合

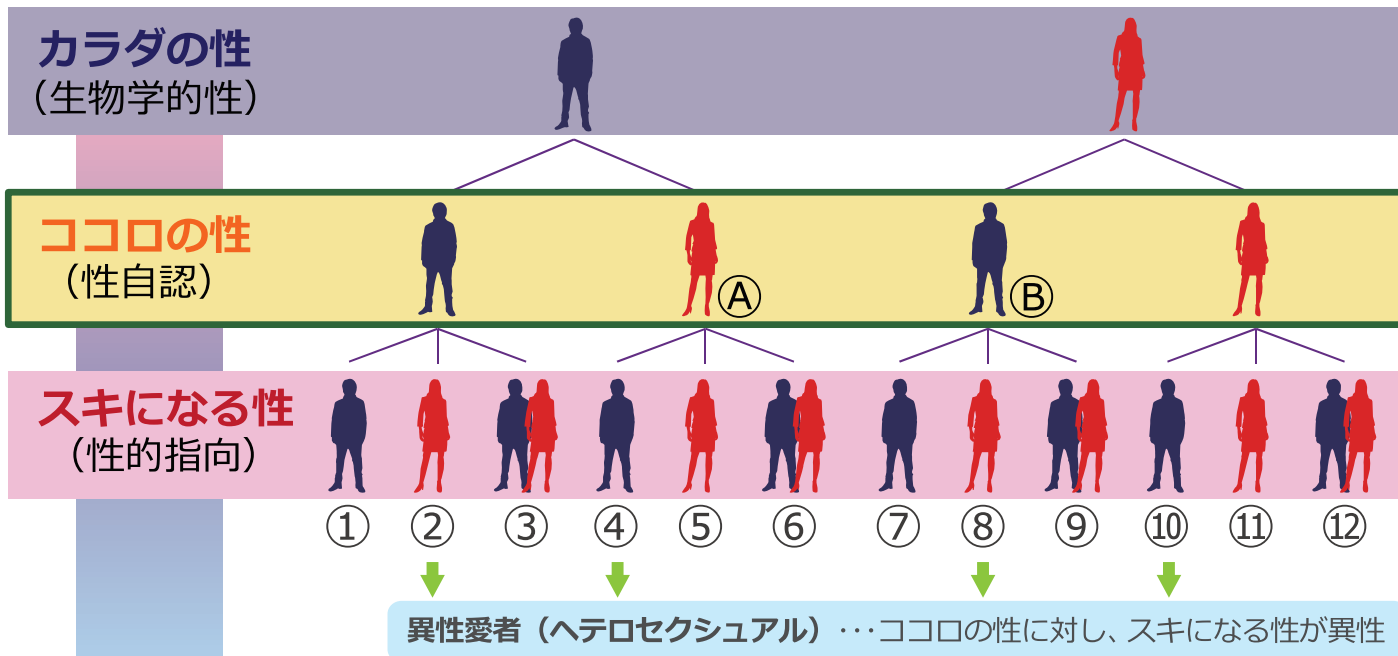
日本の左利きさんの割合



知ってください！

性的マイノリティとは
同性愛や、心と体の性の不一致（性別違和）など様々な理由により、多数派とされている性のあり方とはちがうアイデンティティ（自己同一性）をもつ人々のこと。性的少数者。「LGBT」はその総称。

性は「カラダの性」と「ココロの性」と「スキになる性」の組み合わせです！

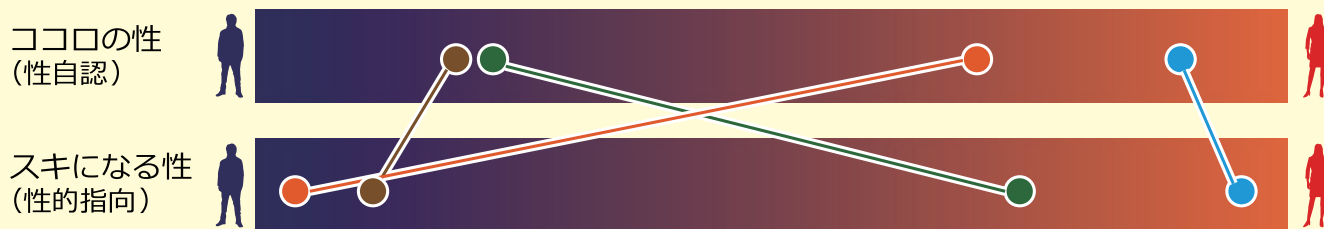


← 人の性別を
考えるときの
基本はここ！

- ▶ **エル** **【レズビアン】** …ココロの性が「女性」でスキになる性が「女性」
女性
女性の同性愛者
- ▶ **ジー** **【ゲイ】** …ココロの性が「男性」でスキになる性が「男性」
主に男性の同性愛者
- ▶ **ビー** **【バイセクシュアル】** …スキになる性が「男性」「女性」の両方
両性愛者
- ▶ **ティー** **【トランスジェンダー】** …カラダの性とココロの性が一致しない
性別違和・性同一性障がい

さらに！

性はパターンではなく、**グラデーション**



異性愛者 (ヘテロセクシュアル) の男性 (女性) でも、性自認が100%男性 (女性) ではない人もいる。
「他者に対して恋愛感情はあるが、性的欲求は持たない人」がいれば、
「他者に対して恋愛感情も性的欲求を持たない人もいる。
「ココロの性」や「スキになる性」が定まっていなかったり、探している人もいる。



性は多様で、
一人ひとり違うものです

▶ あなたの言動が誰かの命を奪うかも・・・

調査の割合
(約8%) でみると・・・

日本におよそ **1000万人** いる
性的マイノリティの方たち
【従業員1000人の企業でおよそ**80人**、40人の部署でおよそ**3人**】

誰もがLGBTの方に出会っているはず

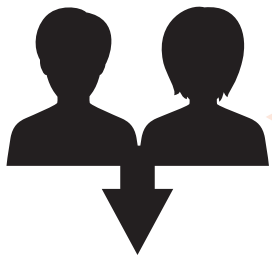
それなのに、なぜあまり出会わないのか？

それは・・・

公にすると
「攻撃」を受けるから

(平成27年 国立社会保障・人口問題研究所ほか研究グループ調査より)

- 友人がゲイだった場合「抵抗がある」・・・ **53.2%**
- 友人がレズビアンだった場合「抵抗がある」・・・ **50.4%**
- 兄弟姉妹が同性愛者だった場合「嫌だ」・・・ **38.0%**
- 子どもが同性愛者だった場合「嫌だ」・・・ **50.4%**
- 同性愛者が「嫌だ」と回答した40代男性管理職・・・ **71.5%**



子どものころ、学校でいじめや暴力を受けたことがある

約70%

言葉による暴力=53% 無視・仲間はずれ=49% 身体的暴力=20% 性的暴力=11%
(小学校～高校生の間のいじめ経験) 2014年「いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン」調べ

同性愛者・両性愛者の男性で、「自殺」を考えたことがある

約66%

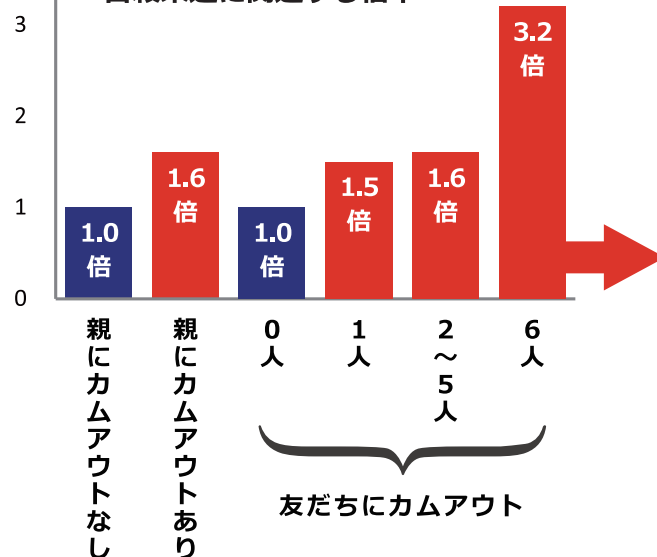
そのうち、実際に自殺を図ったことがある

約14%

宝塚大看護学部 日高庸晴教授らの調査
(朝日新聞14/11/2)より

さらに

ゲイ・バイセクシュアル男性の
自殺未遂に関連する倍率



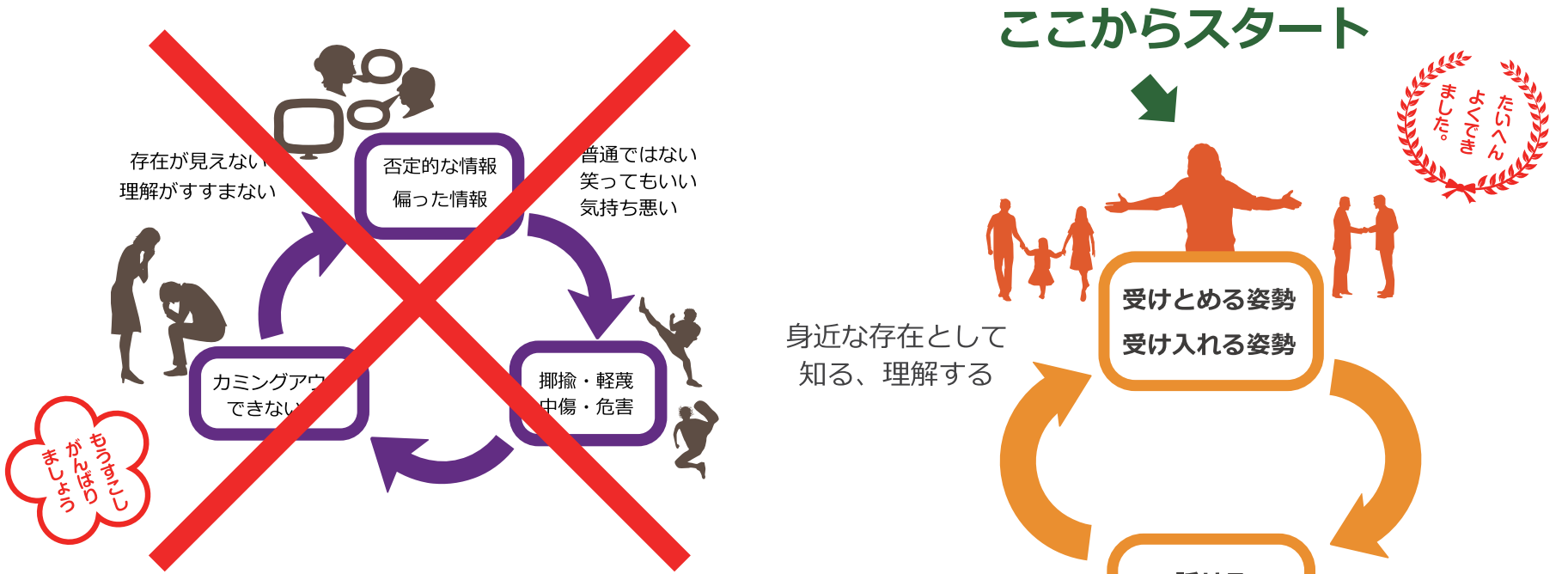
同性愛者・両性愛者の男性が、異性愛者と比べて
自殺未遂に関連する割合 = **約6倍** (上記 日高教授らの調査より)

自分らしく生きるために
カミングアウト (公表すること。
これまで人に知られなくなかったことを告白すること)
したはずなのに、
さらに生き辛くなってしまいう「現実」が。

「ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2」
厚生労働省エイズ対策研究事業
「男性同性間のHIV感染対策とその評価に関する研究」
成果報告(2007年3月)より

自分らしく生きようとしただけで命を脅かされるような社会なんて、おかしいと思いませんか。

必要なのは、性的マイノリティだと見分ける力ではなく
受けとめる力、いつでも受けとめられるという**姿勢**です。



LGBTは人を構成するうちの“ひとつの要素”でしかありません
ひとくくりにせず、
その「人」がどんな「人」なのか、その“個性や能力”を受けとめること

目指すべきところは



「アライ (Ally)」とは、LGBT を理解・支援する人のこと

▶ そして、すべてを“受け入れる”社会に！



よかれと言っていたとしても、
「〇〇らしく生きられない自分はダメだ、おかしい」と追い詰められ、
生き辛くなってしまい、逆効果となってしまうことがあります。
これは性的マイノリティにかぎったことではありません。

男らしく・女らしくではなく、「自分らしく」

男性も、女性も、どんな性自認の方も、
「自分らしく生きること」を妨げられないような世の中に

世の中には、**自分と違う人間しかいません。**

どんな職場でも（学校でも）、
それぞれ“個性”をもった「違う人間」がチームを、社会をつくっています。

性別・人種・国籍・障がいの有無・未婚・既婚・性自認・性的嗜好、そしてジェンダー…
どんな人でも平等に、希望した生き方で人生を進んでいけるように

多様性 を育む社会へ！

レインボーカラーは、複数の色が含まれ共存している事から
“性の多様性”を祝福する意味を持ち、LGBTを象徴するカラーとして用いられています。
LGBTに限らず、すべての人が美しい虹色のなかで共存していくことを願って…

